

# 文化と居場所

アートが開く新たな未来  
Culture and Home — New future opened by art

だれもが  
文化で  
つながる  
国際会議  
Creative  
Well-being  
Tokyo  
International Conference on  
Open Access to Culture  
2024

だれもが文化でつながる国際会議2024

## 文化と居場所 アートが開く新たな未来

「だれもが文化でつながる国際会議2024」は、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京が、「東京文化戦略2030」の目標の一つである「誰もが芸術文化に身近に触れられる環境を整え、人々の幸せに寄与する、ウェルビーイングの実現に貢献する取組」の一環として実施するものです。パラリンピックのレガシーとして、芸術文化による共生社会実現のため、国内外で活動する多くの人たちとネットワークを構築し、東京から先進的な取組を世界に発信します。

2022年に続いて、第2回目の開催となる今回のテーマは「文化と居場所 アートが開く新たな未来」としました。多様化と複雑化が進む現代社会では、わたしたちの誰もが「居場所」を求めています。本会議では、文化を通じてもたらされる「安心できる居場所」をウェルビーイングの一つのあり方として提示し、「新たな未来」について考えました。

デジタル技術の進展やグローバル化により、わたしたちの生活やコミュニケーションのあり方は大きく変わりました。その一方で、孤立感や疎外感を感じる人々も増えています。こうした時代だからこそ、芸術文化が果たす役割はますます重要なものになっています。人々をつなぎ、共感を生み出し、異なる背景をもつ人々が理解し合うために、アートが必要不可欠なものとして社会に存在し役割を果たすことを推進していきます。

本会議は、4つの柱で構成されています。

- ・ **カンファレンス**: 国内外のさまざまな視点から「文化と居場所」について考える議論
- ・ **ショーケース**: 国内外のアーティストの作品の展示や、上映・トーク、アート×最新テクノロジーの体験など多彩なプログラムを実施
- ・ **ネットワーキング**: 国際会議を契機に、登壇者や来場者が意見交換する交流サロンを設け、ネットワークを構築
- ・ **コミュニケーションラボ**: ワークショップなどのプログラムを通して、さまざまなコミュニケーションのあり方を探求

最後になりましたが、本国際会議の開催にあたって、多くの方々のご協力とご支援を賜りました。ご尽力いただいたみなさま、また、ご参加いただきましたみなさまに、あらためて心より感謝申し上げます。みなさまにとって、本国際会議が新たな発見とつながりの場となりましたら幸いです。

東京都  
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京



文化と居場所

アートが開く新たな未来  
Culture and Home — New future opened by art

だれもが文化でつながる国際会議  
Creative Well-being Tokyo  
International Conference on Open Access to Culture  
2024





006 開催概要

## カンファレンス

008 招待講演

世代と文化の多様性のはざまで：それは挑戦か？  
デイビッド・デ・キーザー

012 基調講演

共にいるための場を創る  
—対話とアウトリーチから学んだこと  
梶谷真司

## セッション

016 セッション1

はたらく人とウェルビーイング  
栗栖良依 | 内田まほろ | ジョージ・マククリーン | 松田朋春

022 セッション2

日常とアートと教育  
日比野克彦 | リサ・フィリップス | 妹島和世

028 セッション3

文化機構の社会参画  
片岡真実 | コズミン・コスティナシュ | ジュン・ヤップ

034 セッション4

「分かり合えない」を分かち合う  
志村季世恵 | アンドレアス・ハイネッケ | マンディ・ハーヴェイ

040 クロージングセッション

文化と居場所 居場所をつくるためのアクション  
梶谷真司 | デイビッド・デ・キーザー | モーウェナ・コレット | 熊倉純子

## 事例発表

046 事例発表1-1

演劇で問う社会課題  
—「Both Sides, Now」での取組から  
コク・ヘン・ルン

050 事例発表1-2

ろう者のオンガクを追求する  
牧原依里

054 事例発表1-3

居場所を創る建築家  
金野千恵

058 事例発表2

KINO ミーティングの手法  
阿部航太 | ティ・ウシン

## 分科会

063 分科会1

演劇でつなぐ多文化社会  
田室寿見子 | ペアタ・アンナ・シュムツツ | ミン・ジンキョン

067 分科会2

劇場体験を拡張させる鑑賞・参画サポートのデザイン  
月橋朋子 | 請川幸子 | 中村よしき

071 分科会3

アクセシビリティの向上と文化施設の未来  
駒井由理子 | 関根千佳 | 佐野広大

075 分科会4

認知症と向き合うアート  
藤岡勇人 | 佐伯賢 | リウ・ジェンリャン | 熊谷香寿美

079 分科会5

共生する場のつくり方  
加藤甫 | 小田井真美

083 分科会6

インクルーシブな劇場をつくるためには  
長津結一郎 | 平井徹

087 分科会7

ろう者による芸術の手話解説  
—イギリスのBSLガイドの事例に学ぶ  
菅野奈津美 | 南村千里

091 分科会8

進化を続けるアクセシビリティ  
—アムステルダム国立美術館の事例より  
佐藤麻衣子 | カタライン・デネカンブ | 八巻香澄

095 寄稿

国際手話通訳リレーの挑戦  
高木真知子

## ショーケース／ネットワーキング／ コミュニケーションラボ

098 ロビーギャラリーレポート

110 クレジット

112 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョーの展開

## 開催概要

会期：2024年10月29日(火) — 11月3日(日・祝)

ウェブサイト：<https://www.creativewell-conference.jp>

入場料：無料

会場：東京国際フォーラム ホールB5、

会議室 G502・G510、ロビーギャラリー

(〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1)

主催：東京都、

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

### メインビジュアルコンセプト

このビジュアルは、より多くの人に伝えられるよう、色覚の多様性に配慮したデザインを意識しています。見え方や感じ方の豊かさを、色彩の微妙な調整によって表現するデザインをメインビジュアルとしました。

クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョーの理念である「だれもが文化でつながる」ことの表現として、だれかの分かりやすさに合わせるのではなく、揺らぎも含めた表現の豊かさを分かち合うことを目指しました。

メインビジュアルデザイン：三上悠里(グラフィックデザイナー)

※このメインビジュアルは、カラーユニバーサルデザイン(CUD)検証に合格しています。



CUDマークはNPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により、認証された印刷物、製品等に表示できるマークです。

### アクセシビリティサポート



日本語・国際手話  
手話通訳

※国際手話はホールB5のみ



日本語・英語字幕  
日英同時通訳



サポートスタッフ



# CONFERENCE

## カンファレンス